

特集

音楽があふれるまち



(さくらジュニアオーケストラ・アカデミーの演奏)

10月1日、栗東市は市政施行15周年

- ・みんなの力でつくる「元気都市 栗東」…P 6～7
- ・平成28年度 後期高齢者医療制度… P 8
- ・平成27年度 下半期予算執行状況…P 9
- ・市長からのメッセージ …………… P10
- ・すだじいの百年日記vol.42 ……………P12

「梅ノ木立場あかりの演出2016」で演奏舞台となっていたのは浄玖寺・法界寺・福正寺の境内。お寺での演奏は、アカデミーにとっても初めてです。集中する子どもたちの表情は真剣そのもの。管楽器アンサンブルでは「魔笛」、弦楽器アンサンブルではバッハの「メヌエット」などが披露され、東海道が美しい音色に包まれました。

ホームページアドレス

<http://www.city.ritto.shiga.jp/>



いっとう/栗東



音楽があふれるまち

「音楽は設備が整ったホールでしか楽しめない」という考えは今や昔。今、栗東では、屋内外を問わず、さまざまな場所で音楽を気軽に楽しむことができる活動が展開されています。

「もっと身近に音楽を楽しんでほしい」。共通の思いと努力で、おなじみの場所に心地よいメロディーが奏でられています。

市民による手作りの音楽会がまちを元気にする

安養寺山音楽会

音楽でまちを元気に！
思いを一つに集う

4月3日になごやかセンターで開催された「安養寺山音楽会 プランタンコンサート」。コーラス、管楽器演奏、独唱など10組が多彩な演奏を披露しました。100人を超える来場者からは、「身近にいろいろな楽器や音楽分野の演奏が聴けるのが楽しい」「あたたかな雰囲気がかかった」との声が聞かれ、大好評に終わりました。

安養寺山音楽会が発足したのは、平成25年。「音楽活動の成果を発表する場をつくりたい」と治田東地域の音楽愛好家が集いました。当時、台風18号による被害で、無残な姿になった安養寺山を見て『音楽でまちを元気にしよう』という思いを一つに、『安養寺山音楽会』と名付けました。以来、プロやアマチュア、年齢や性別、音楽ジャンルにとらわれず、だれもが気兼ねなく参加でき、日ごろの練習の成果を披露できる場になればと活動しています」と語る、代表の奥野達夫さん。

現在は、子どもたちのコーラスグループも含めて、メンバーは約80人に増えました。年に1度、春に開催される音楽会を中心に、下戸山はなも市などの市内イベントにも出演。美しいメロディーでイベントを盛り上げています。

音楽会は、出演者も来場者も、幅広い年齢層が集い、音楽の楽しさを身近な同じ空間で共有できるのが特徴です。本年度は市の「元氣創造事業」の採択を受けて活動。メンバー同士の交流から、新たな共演も生まれています。



安養寺山を背景に、右から実行委員の奥野さん（ハーモニカ）、吉田さん（ギター）、久野村さん（ピアノ）。音楽でまちを元気に。

子どもたちを育てる 音楽会

「安養寺山音楽会 プラントンコンサート」に出演した最年少は3歳の女の子。歌の大好きな子どもたちのグループ「B・F・Friends」の一員です。「緊張するけど、みんなで歌うと気持ちいいし、たくさんの人に聴いてもらえるのがうれしい」とメンバーの一人は話してくれました。「人前で発表することで、自信がついたり、音楽の楽しさを再確認できるので、子どもたちのためにある場と言っても過言ではないかもしれません。将来につながればうれしいです」と語る、副代表の吉田収さん。また、同じ副代表の久野村優子さんは「出演する子どもたちのひたむきに感動します。会場に来た子ども

たちも音楽を楽しみながら、『自分もやってみよう』と思ってもらえたらうれしいです」と話してくださいました。

小さな活動が まち全体に広がる

「メンバーには若い人も多く、会場づくりなど、自分たちにはない視点を持つてくれているので、新たな発見をさせてもらい、楽しいです。いつもアイデアを出し合っています。飾りの作製、受付、撮影など、ボランティアで手伝ってくれる人も多く、まさに手作りの音楽会です」と続ける、吉田さん。「映画音楽を映像と生演奏で楽しむ企画も面白いかもしれません。技術向上のため、出演者がプ

口の指導を受けたり、会場づくりを勉強することで、よりよい音楽会を目指したいです。ただ続けるのではなく、常に新鮮な音楽会を開催するため、楽しみながらみんなで考え、工夫していきたいです」と久野村さん。

「治田東地域から始まった小さな活動が、仲間が増え、少しずつまちに広がっています。活動をとおして、新たなつながりが生まれるとともに、個々の力が一つになり、大きな力になっています。資金面などの課題はありますが、安養寺山の裾野が広がっているように、私たちの音楽も広がり、まちを元気にできたら」と語る奥野さん。

安養寺山の復旧と同じように、緩やかに着実に、音楽を楽しむ輪が広がっています。



①出演者同士の共演で音楽の楽しさが倍増
②栗東ならではの素材で作詞・作曲も。栗東名物いちじくのおいしさを歌に乗せて表現
③楽器の紹介で理解が深まります ④来場者が楽しめる工夫が盛りだくさん ⑤メンバーは、いちようまつりなどのイベントでも活躍

音楽会でおじいちゃんと共演 ～ずっと音楽に関わっていくことが夢～

おじいちゃんが安養寺山音楽会にも出演するバンド「Black Face」のメンバーです。ギターを始めたのは、小学1年生の時。週末、おじいちゃんの家に行き、教えてもらっていました。今は、秦基博さんの曲が大好きで、よく演奏します。

安養寺山音楽会には、弾き語りや「B・F・Friends」などで出演しています。第1回では、「Black Face」とフォークソングで共演でき、うれしかったです。昨年のいちようまつりでは、タコ公園で弾き語りをしました。野外で全力で歌い、すがすがしい気持ちでした。出演日まで一生懸命に練習します。本番は緊張しますが、楽しさのほうが大きいです。

ギターの音の響きは、あたたかく心地よいので安心します。毎日、ギターに触れています。いつか、自分自身が作詞・作曲したオリジナルソングを演奏できたらと思います。ずっと音楽に関わっていくことが夢です。



独特の世界観！弾き語りの評判
アオイくん(中学2年生)
※写真はいちようまつりでの演奏

RISSミュージアムロビーコンサート



①旧中島家住宅では芸妓の舞いも ②狛坂磨崖仏を背景に開放感あふれるロビーコンサート

< RISS ミュージアムロビーコンサート 25 >

- ・ 7月24日(日) 14時～、博物館にて
- ・ 出演者…村中 宏(ファゴット)、笹 まり恵(ピアノ)
- ※ファゴットの説明もあります
- ・ 問合せ…栗東歴史民俗博物館 ☎ 554-2733

協働で可能性が広がる

毎回、約1000人の来場者がある「RISSミュージアムロビーコンサート」。栗東音楽振興会(RISS)と栗東歴史民俗博物館が平成22年から協力して開催し、24回を数えます。コンサートの舞台となっているのは、博物館のロビー。「本格的な演奏が無料で楽しめる」「気軽に堅苦しくない雰囲気なのがいい」とファンも多い評判のコンサートです。

「より身近に音楽を楽しんでいたことが始まりでしたが、博物館のロビーは音響もよく、舞台と客席も近いので、思った以上に演奏会場にふさわしい場所でした。人生の中で音楽に親しんでいただく時間はとても大切です。無料で心地よい音楽を楽しんでいただくため、多様な演奏家に来ていただいています」と音楽振興会事務局の森岡節子さん。

「芸術文化の発信拠点の一つが、栗東駅前のさくらです。一方で博物館のある場所も市の文化ゾーンに位置づけられています。地域的

にも、さらに加え、ここでコンサートができることは意義深いです。隣接する図書館とも連携し、コンサートの開催を看板設置やアナウンスなどで案内しています。博物館の展示を見ていただくきっかけにもつながっています」と博物館の松村浩館長。双方が連携することによって、互いの事業への理解が深まっています。

旧中島家住宅を舞台に

ロビーコンサートの新たな試みが、博物館にある国の登録有形文化財「旧中島家住宅」を舞台にしたコンサート。平成26年はマリンバ演奏と民話、平成27年は歌・フルート・ピアノ・舞いの共演が企画され、いずれも200人近い来場者が秋の夕べを楽しみました。

「年間4回のコンサートを企画しており、会場設営は、音楽振興会の会員や博物館の市民学芸員の会の皆さんなどがボランティアで協力してくださっています。設営の大変さも素晴らしい音楽で癒されます。今後は、さらにジュニアオーケストラの出身者にも演奏してもらおうことができました」と続ける二人。身近に音楽を届けるため、連携した取り組みは今後も続きます。

いつでも、どこでも、だれとでも、みんなと一緒に音楽を

一昨年8月3日、第17回のロビーコンサート「はぎのさんちのコンサート」夏の思い出で、懐かしい日本の歌をお届けしました。声楽家の娘と共演し、私はメゾソプラノ、娘はソプラノで「浜辺の歌」などを歌いました。会場はお客さんとの距離も近く、皆さんの胸にある思い出をつないでいくことができたと思います。

昭和62年、「一人でも多くの人に音楽を好きになってほしい」と市内に音楽ホールを開設しました。平成12年には、音楽を中心にした芸術文化の普及・振興を目指し、NPO法人ブラームスホール協会を設立し、理事長として、全国で1500件以上の事業に取り組んできました。音楽にプロ・アマチュアの境目はなく、目的が明確であれば、演奏場所は限定されたいと感じています。いつでも、どこでも、だれとでも、みんなと一緒に音楽を楽しめる環境づくりのために、今後も活動していきます。



親子で伸びやかな歌声を披露 萩野 美智子さん(声楽家)
※写真右が萩野さん。娘の久美子さんと。



①② 議場やお寺で演奏。さきから飛び出し、市内のさまざまな場所で演奏しています。

＜さきらジュニアオーケストラ定期演奏会＞
10月9日(日) 15時～、さきらにて
※詳細は今後の広報に掲載します。



わがまちのオーケストラが夢を運ぶ さきらジュニアオーケストラ・アカデミー

わがまちのオーケストラが夢を運ぶ

議場やお寺で音楽演奏

3月24日、市議会の議場に美しいメロディーが響き渡りました。本会議の休憩に合わせ、演奏したのは、栗東芸術文化会館「さきら」を拠点に活動する「さきらジュニア・オーケストラ・アカデミー」。議場で演奏されたのは、本市初めての試みでした。弦楽合奏曲など計4曲を演奏し、「開かれた議会」につながる取組みとなりました。

5月28日には、「梅ノ木立場あかりの演出2016」にも出演。浄玖寺、法界寺、福正寺で演奏し、「地域のお寺での演奏が新鮮」「子どもたちが奏でる素晴らしい音に感動した」と来場者から好評でした。

アカデミーは、ジュニアオーケストラの結成を目指して平成17年に開校し、平成22年、会館の「さきらジュニアオーケストラ」が誕生。現在、市内外の小学1年生から高校3年生までの83人が月3回の練習に励んでいます。年に一度の定期演奏会・成果発表会を中心に、今年から市内演奏も積極的に行い、腕を磨いています。

受け継がれる伝統と新たな夢

子どもたちが指導を受けているのは第一線で活躍する講師。開校以来アカデミーの校長を務める藤井允人さんは次のように語ります。

「作曲家の心をイメージし、自分の意思として音楽が表現できるように、楽譜を正しく読むことに力を入れ指導してきました。結果、子どもたちならではの大人には真似が出来ない表現が生まれ、よく知るはずの曲でも新鮮な演奏で感動させられます。みずみずしい才能に逆に私が勉強させられることも多いです。アカデミーを巣立ち、音楽大学へ進む子どもたちも出てきました。本アカデミーも11年目を迎え、さきらならではの伝統が受け継がれているとも感じています。指導者として戻ってきてくれる子が出てくるかもしれないですね。夢が広がります。今後はいっそう市と連携して音楽を身近に感じていただく機会を広げたいです」。

夢を奏でる 受講生にインタビュー

アカデミーでバイオリンを弾いている妹の姿を見て、楽しそうだったので、自分もやってみようと思いました。小学4年生の時から頑張って練習しています。きれいな音を出せた時はすごくうれしいです。お寺での演奏は楽しかったです。将来も音楽を続けていきたいです。

右：＜チェロ・有本隼大さん（市内中学1年生）＞

さきらジュニアオーケストラの演奏を聴いて、「私もやってみよう！」と、小学2年生の時に入りました。みんなで音を合わせることが楽しいです。ジュニアオーケストラとして定期演奏会に出ることが夢です。

左：＜バイオリン・向内愛珠さん（市内小学4年生）＞



紹介したのは一例ですが、学校の部活動や消防音楽隊など、まちでは多くの音楽活動が行われています。音楽活動に関わる皆さんは「聴いてくれる人がいるからこそ、よりよい演奏をしようと努力する」と口を揃えます。身近に流れる音楽にゆっくりと耳を傾けてみませんか。まちの音楽文化は、ともに楽しむ人が増えることで、今以上に育まれ続けていきます。

まちづくりのパートナー募集 ～「栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金 (通称：元気創造まちづくり事業)」～



みんなの力でつくる 「元気都市 栗東」

市では、平成16年度より「栗東市市民社会貢献活動促進基金」を創設し、市内を拠点に活動する、あるいは活動しようとするNPO法人や市民活動団体（自発的で公益的な活動を行う団体）を「元気都市栗東」とともに築くパートナーとして位置づけ、補助金の交付や広報、サポート講座の開催などの支援を行ってきました。

元気創造まちづくり事業では、市民活動の立ち上げや自立へのステップアップを支援する「市民団体活動推進コース」に加え、地域コミュニティの活性化のため「地域振興協議会コース」を設け、さらなる社会貢献活動の活性化と活力とにぎわいのあるまちづくりの創造を目指しています。

本年度実施の事業は、昨年7月～8月に募集しました。書類審査と公開プレゼンテーションの結果、市民団体活動推進コース8団体、地域振興協議会コース6団体の活動が採択され、取組みが進んでいます。



市民団体活動推進コース

団体名	事業名	内 容
安養寺山音楽会 ＜新規＞	音楽で地域を元気に！	日頃から気軽に音楽に触れることができる機会を提供し、音楽を愛する人々の交流の場をつくります。また、音楽会を開催し、幅広い人たちに音楽の楽しさを伝えられるよう取り組みます。
くりちゃん絵手紙 ＜新規＞	絵手紙で元気に！	幼稚園・地域の子ども会・老人クラブ・サロン・老人福祉施設などで、一緒に絵手紙作成や展示会を実施し、地域交流を目指します。また、研修会や体験教室を開催し、広く絵手紙の魅力を伝えます。
はなもも市実行委員会 ＜新規＞	はなもも市	地域の農産物を使った下戸山マルシェ「はなもも市」や郷土料理教室を開催し、地産地消と地元農業の活性化を推進します。また、生き物観察などの自然体験活動を通じて、地域の自然環境への関心向上を目指します。
絵本読み聞かせ 「にこにこくらぶ」 ＜継続2年目＞	絵本読み聞かせ 「にこにこくらぶ」	情緒豊かな子どもを育むため、市内の小学校、幼稚園、幼稚園、保育園、学童保育所、児童館に出向き、読み聞かせや紙芝居、手遊びなどを実施しています。
NPO 法人 プロボノ 滋賀＜継続2年目＞	専門的スキルを生かした 社会貢献活動事業	パソコン指導の専門的スキルを持つ高齢者などと支援を必要とする団体をコーディネートし、高齢者の生きがい対策、団体へのスキル提供につなげます。
ハーベスタ・イン・ 走井実行委員会 ＜継続2年目＞	ハーベスタ・イン・ 走井	都市農村交流イベント「ハーベスタ・イン・走井」を開催し、地域の魅力の再認識や地域の活性化を目指します。さらに、若者が農林業にチャレンジする集落作りに取り組みます。
栗東市商工会女性部 ＜継続3年目＞	交通安全グッズ 制作・配布	子どもたちの健やかな成長を願って、地元の間伐材を使った交通安全グッズ「馬のキーホルダー」を制作し、市内小学校に配布します。
NPO 法人 街道を いかしたまちづくりの会 ＜継続3年目＞	地域資源をいかしたまち づくり～史跡「旧和中散 本舗」の定期開場～	旧和中散本舗を定期開場（毎月第1土曜日）することにより、栗東市の観光、市民活動の活性化と地域のまちづくりを目指します。

地域振興協議会コース

団体名	事業名	内 容
治田西学区地域振興協議会<継続2年目>	防災啓発～「かまどベンチ」設置事業～	防災かまどベンチを設置し地域住民、特に学校と連携して小学生との訓練・炊き出しを行い、防災意識を向上します。
大宝学区地域振興協議会<継続2年目>	栗東駅周辺環境美化事業	栗東駅東口周辺にプランターを設置し、季節の花を植えます。また、周辺道路・広場の清掃を定期的に行い、快適な環境の創造に努めます。
大宝東学区地域振興協議会<継続2年目>	健康で元気あるまちづくり	防災訓練や救急救命に関する講習を行うとともに、住民同士の交流の場とし、地域力アップを目指します。
大宝西学区地域振興協議会<継続3年目>	防災かまどベンチ設置事業	防災かまどベンチを地域の拠点に設置し、防災訓練を兼ねて炊き出しを行い地域の交流・防災意識を啓発します。
金勝学区地域振興協議会<継続3年目>	金勝里山魅力づくり事業	金勝山に点在する公園や遊歩道などを清掃、スイセンやコスモスを植えることで、花に囲まれた里山を中心としたまちづくりを展開します。
治田学区地域振興協議会<継続3年目>	地域福祉事業～みんなでつくる地域の絆～	「地域福祉」を目指して主に高齢者、児童、障がい者などについて地域住民やボランティア、各種団体と連携し、地域の絆を深める「憩いの場」や各種講座などを開催します。

相乗効果で栗東をもっと元気に～「協働事業提案制度」～

市では、平成21年に制定した「市民参画と協働によるまちづくり推進条例」に基づき、「協働事業提案制度」を実施しています。

NPO法人・市民活動団体と行政が、お互いの強みをいかし協力することで、単独で実施するよりも効果的、効率的に活動できるため、多様な住民ニーズに応えることにより「いつまでも住み続けたいくなる安心な元氣都市栗東」を築いていくことを目指しています。

協働事業提案には、①自由にテーマを設定する「自由テーマ型」と、②市が設定したテーマに基づく「テーマ設定型」の2種類があります。

本年度実施の提案は、昨年7月～8月に募集しました。書類審査と公開プレゼンテーションの結果、1団体の提案が採択され、取組みが進んでいます。



区分	団体名／担当課	提案事業名	内 容
自由テーマ型	栗東市ハローキッズ協議会／生涯学習課<継続2年目>	ハローキッズ2016	市内在住の小学生を中心に、外国語を交えながら日本文化との違いを体験・実感して外国語に親しみをもってもらうことを目的とします。

まちを元気にする力を募集します

問 自治振興課
協働まちづくり係
☎ 551-0290
FAX 551-0432

・7月20日(水) 19時～21時
市役所2階 第4・5会議室
・7月24日(日) 10時～12時
コミュニティセンター大宝東
大会議室

応募を検討している人、興味のある人は、ぜひご参加ください。

募集に先立ち、制度の仕組みや申請書の書き方、申請の流れや公開プレゼンテーションの進め方に関する説明会を開催します。

■「元氣創造まちづくり事業」「協働事業提案制度」募集説明会

市では、平成29年度に「元氣創造まちづくり事業」「協働事業提案制度」の実施団体を募集します。

あなたのアイデアをまちづくりにいかしてみませんか。

■募集期間：7月21日(木)から8月19日(金)まで

※募集要項は、市ホームページに掲載します。

平成28年度 後期高齢者医療制度

8月1日から有効の 新しい被保険者証を送付

新しい被保険者証は、7月中に簡易書留郵便で送付します。平成28年8月1日以降は、今お持ちの被保険者証は使えませんのでご注意ください。

新しい被保険者証は
うすい緑色



平成28年度の保険料を通知

後期高齢者医療制度の被保険者の皆さんに、平成28年度の1年間の保険料の額や、支払い方法についての通知書を、7月中旬に郵送します。

なお、平成28・29年度は、被保険者一人当たりの医療費が増えていることや、人口全体に対する高齢者の人数が増えていることから、下記のとおり改定しました。

区分	保険料率（年額）	
	平成26・27年度	平成28・29年度
均等割額	44,886円	45,242円
所得割率※	8.73%	8.94%
年間保険料の上限額	57万円	57万円

※「所得割額」の計算方法…総所得金額等から、基礎控除の33万円を差し引いた金額×上記の割合

- 平成28年度の保険料は、平成27年中の所得に基づいて計算します。
- 「特別徴収」なら年金から、「普通徴収」なら納付書が口座振替でのお支払いとなります。

「限度額適用・標準負担額減額認定証」の更新

- 「限度額適用・標準負担額減額認定証」とは？
入院、通院時に、医療機関で提示すると、食事代が減額され、入院、通院費にかかる窓口でのお支払いの上限が限度額までとなります。
- 対象者…後期高齢者医療制度の被保険者で、平成28年度の住民税が世帯全員非課税の人
- 手続方法…平成28年7月31日まで有効の認定証をお持ちの人で、平成28年8月以降も該当する人には、新しい被保険者証に同封して郵送しますので申請手続きは不要です。ただし、対象となる人で認定証を現在持っていない人は申請が必要です。被保険者証と印鑑（認印で可）をお持ちの上、市役所保険年金課 高齢者医療係の窓口で申請してください。

不審者・不審電話にご注意を

- 絶対に被保険者証を渡さないようにしましょう。
- 絶対に生年月日、口座番号など個人情報を教えないようにしましょう。
- 金銭のやり取りの際は、相手の身分証などを必ず確認しましょう。



岡田市役所保険年金課 高齢者医療係

☎551-0361 FAX 553-0250

滋賀県後期高齢者医療広域連合

☎522-3013 FAX 522-3023

みんなで作ろう！ りっとう景観図鑑
あなたの好きな
「りっとう」を教えてください



**栗東の魅力ある
景観写真を募集中**

市では、一人ひとりが考える栗東の魅力ある景観写真を募集し、「りっとう景観図鑑」を作成しています。あなたが魅力的だと思ふ景観、栗東らしいと思ふ景観はどんなところですか？

栗東のシンボルとなる建物や、あなたが知っている「オススメ」の風景など、素敵な写真や絵をお待ちしています。

応募の詳細は、市ホームページをご覧ください。

岡田市計画課 景観・まちづくり係
☎ 551-0116 FAX 552-7000



平成27年度 下半期予算執行状況

市では毎年2回、財政状況をお知らせしています。今回は、平成27年度下半期（3月31日まで）の財政状況をお知らせします。なお、年度末まで

に実施した事業の収入や支出などの会計事務は5月31日まで行うことができます。

問財政課 財政係 ☎551-0100 📠554-1123

●一般会計執行状況 ※平成26年度からの繰越事業費は含みません

▼歳入

区 分	予算額	収入済額	収入率
市 税	123億5,790万円	121億2,768万円	98.1%
地方譲与税など	20億7,649万円	20億7,649万円	100.0%
分担金・負担金	2億8,940万円	2億7,186万円	93.9%
使用料・手数料	10億8,132万円	9億7,061万円	89.8%
国庫支出金	32億3,772万円	28億9,439万円	89.4%
県 支 出 金	13億9,921万円	10億 343万円	71.7%
財産収入など	1億9,357万円	1億5,779万円	81.5%
繰 越 金	3億7,005万円	4億5,364万円	122.6%
諸 収 入	3億 867万円	2億8,177万円	91.3%
市 債	21億1,315万円	1,560万円	0.7%
合 計	234億2,748万円	202億5,326万円	86.5%

地方譲与税など…地方譲与税、地方交付税、その他
交付金の合算

財産収入など……財産収入、寄附金、繰入金の合算

▼歳出

区 分	予算額	執行済額	執行率
議 会 費	1億8,818万円	1億8,524万円	98.4%
総 務 費	23億4,527万円	18億7,272万円	79.9%
民 生 費	79億6,533万円	70億6,204万円	88.7%
衛 生 費	18億4,441万円	14億5,511万円	78.9%
労 働 費	5,972万円	5,746万円	96.2%
農林水産業費	3億5,484万円	2億6,843万円	75.6%
商 工 費	3億1,733万円	3億 300万円	95.5%
土 木 費	24億3,910万円	14億1,065万円	57.8%
消 防 費	7億5,672万円	7億1,891万円	95.0%
教 育 費	32億2,374万円	24億7,793万円	76.9%
災 害 復 旧 費	1億 363万円	6,217万円	60.0%
公 債 費	38億1,921万円	36億2,359万円	94.9%
予 備 費	1,000万円	0円	0.0%
合 計	234億2,748万円	194億9,725万円	83.2%

●特別会計執行状況 ※平成26年度からの繰越事業費は含みません

会 計 名	予算額	収入済額	収入率	執行済額	執行率
土 地 取 得	6億6,742万円	3億8,818万円	58.2%	5億7,912万円	86.8%
国 民 健 康 保 険	60億3,905万円	54億7,902万円	90.7%	54億8,997万円	90.9%
後 期 高 齢 者 医 療	5億1,728万円	4億8,074万円	92.9%	4億6,428万円	89.8%
介 護 保 険	30億5,358万円	26億 692万円	85.4%	27億2,135万円	89.1%
墓 地 公 園	528万円	1,024万円	193.9%	406万円	76.9%
大津湖南都市計画事業 栗東駅前土地区画整理事業	5,811万円	251万円	4.3%	5,731万円	98.6%
大津湖南都市計画事業 栗東新都心土地区画整理事業	8,216万円	212万円	2.6%	8,161万円	99.3%
農業集落排水事業	3,262万円	501万円	15.4%	2,914万円	89.3%
合 計	104億5,550万円	89億7,474万円	85.8%	94億2,684万円	90.2%

特別会計…国民健康保険のように相互扶助を目的とした事業や農業集落排水のように受益の程度に応じた事業は、原則として受益者たちが負担するお金で運営するため、一般会計とは別の「特別会計」になっています。

●水道事業会計・公共下水道事業会計執行状況

<水道事業会計>

	予 算 額	収入・執行済額	収入・執行率
収益的収入	13億3,790万円	12億9,191万円	96.6%
支出	12億5,443万円	11億3,725万円	90.7%
資本的収入	5億5,518万円	3億4,616万円	62.4%
支出	10億9,441万円	9億2,478万円	84.5%

<公共下水道事業会計>

	予 算 額	収入・執行済額	収入・執行率
収益的収入	17億4,634万円	17億4,809万円	100.1%
支出	17億 167万円	16億4,795万円	96.8%
資本的収入	14億 766万円	13億 665万円	92.8%
支出	20億4,665万円	19億 130万円	92.9%

※水道事業会計・公共下水道事業会計は民間企業のように、その事業の収入で支出を賄う独立採算の企業会計を採っています。収益的収支は、人件費や物件費など毎年必要な経費、資本的収支は、新しい管の敷設などに必要な経費のことです。

●市債の現在高

一 般 会 計	446億7,194万円
土 地 取 得 特 別 会 計	19億6,025万円
大津湖南都市計画事業 栗東駅前土地区画整理事業特別会計	2,514万円
大津湖南都市計画事業 栗東新都心土地区画整理事業特別会計	4億1,024万円
農業集落排水事業特別会計	1億6,330万円
水 道 事 業 会 計	30億5,329万円
公 共 下 水 道 事 業 会 計	169億1,566万円
合 計	671億9,982万円

※市民一人当たり 993,625 円の現在高です

●基金の現在高

財 政 調 整 基 金	11億6,266万円
減 債 基 金	13億6,580万円
東海道新幹線（仮称）びわこ栗東駅建設等整備基金	14億1,283万円
墓地公園等整備基金	3億 590万円
その他特定目的基金	1億7,832万円
土 地 開 発 基 金	6億 130万円
その他定額運用基金	1,000万円
合 計	50億3,681万円

※市民一人当たり 74,475 円の現在高です

「栗東観光PR使節2016」に近藤さんと松浦さん

市の魅力を発信する「栗東観光PR使節」に、本年度は市内在住の近藤里緒音さん（20歳）と松浦実希子さん（28歳）の二人が選ばれました。

学生の近藤さんは、「自然の中でバーベキューができる、こんぜの里バンガロー村がおすすめのスポット。『馬のまち栗東』と聞いていましたが、栗東ステークスに参加し、栗東に2千頭を超える馬がいることを知り驚きました。観光PR使節として知ったことを、まずは自分の身近な友人から私の感覚で伝えていきたいです。滋賀の人はもちろん、近畿の皆さんが栗東に来てもらえるように魅力を伝え、栗東を盛り上げていくようにします」。



▲栗東観光PR使節に選ばれた近藤さん（右）と松浦さん（栗東市観光物産協会選任）

主婦の松浦さんは、「3年前に栗東に引っ越してきて、不安だった時、栗東の皆さんの優しさに支えられました。人やまの素晴らしいさを伝えていきたいです。特産のいちじくを使ったスイーツがおすすめで、道の駅こんぜの里りっこのソフトクリームや自宅近くのカフェのプリンは、甘酸っぱくておいしいです。大野神社やドクターイエローが見られる道の駅アグリ郷栗東など、若い世代に楽しめるスポットを広めていけるように頑張ります」。

それぞれ抱負を語ってくれた二人は、今後、市内でのさまざまなイベントや県外のキャンペーンなどで本市の魅力を発信してまいります。



市長からのメッセージ ～市民の皆さまへ～

「栗東100歳大学」の取組みを全国に発信

6月2日に東京で開催された日本健康会議主催の「健康づくりと生涯現役社会を考える首長懇談会」で「栗東100歳大学」の取組みを発表しました。

100歳大学は、全国初の取組みとして、昨年10月に市内在住の65歳・66歳を対象に開校しました。「学び直し」を「自分の老後」「地域の地域」に活かし、活躍いただくことを目指しています。

ここでの学び直しは、高齢者自らが、健康で長く100歳まで活躍すること、健康づくり支援や多様な主体が提供する生活支援の中心的担い手として参画すること、起業・兼業・副業といった新たな働き方を生み出すことにつながる

6月に本市職員が公然わいせつ容疑で逮捕されました。職員がこのような不祥事を起こしたことは、市民の皆さまの信用を著しく失墜する行為であり、深くお詫びを申し上げますとともに、今後、信頼の回復に努めてまいります。

栗東市長 野村昌弘



▲100歳大学の取組みを首長懇談会で発表。健康づくりと高齢者の就労や社会参加について話しました。

よう、引き続き事業を展開していきたいと考えています。

今後も「栗東100歳大学」をはじめ、「介護支援ボランティア事業」などを積極的に実施し、すべての高齢者の皆さまが元気で生きがいを持ち、健康と活力を維持し安心して暮らすことができる地域社会の構築を進めていきます。



子育て情報

～子どもとの程よい距離間～

子どもと関わる時、うまくいなくて親子ともにイライラすることはないですか？

子どもは大人になるまで「甘え」と「反抗」を毎日繰り返しながら大きくなっていきます。子どもが依存したり、自立したりすることを全部ひっくるめて「子どもについていくこと」が大切です。

- 子どもが何かを決めたとき、子どもの後についていてみる。そのとき指示、命令、干渉はしないこと。
- 子どもの足で歩かせる、大人は同じ速度でついていく。
- 子どもが立ち止まったら、大人も立ち止まる、また歩き出すまで待つ。
- 先回りしたり、自分のペースに巻き込んだり、後ろから押したりしない。
- かといって「じゃあ好きにすれば？」と突き放すことはしない。
- 言葉で突き放すようなことを言っても心配だからついていく。もし、子どもが不安になって後ろを振り向いたとき、そこにはちゃんと親がいて「大丈夫だよ」とうなずいてあげる。
- 本当に危ないときには「そっちにいったらあぶないよ」「だめだよ」とひとこと伝える。「見放さない」。

子どもが初めて歩こうとしたとき、その一歩を待ちませんでしたか？子どもが初めて走ったとき、その背中をほほえましく、たくましさを感じながら見つめませんでしたか？それと同じです。

子どものペースを信じてついていき、何かあったときにドーンと構えて待ち、こちらから関わりすぎない距離感を保っていきたいですね。



岡地域子育て支援センター

- ・大宝東児童館内 ☎ 551-2370 FAX 551-2330
- ・治田西カナリヤ第三保育園内
☎ 553-3907 FAX 553-3908
- ・金勝児童館内 ☎ 558-3527 FAX 558-3527
- ・治田東児童館内 ☎ 554-6115 FAX 554-6116

～葬儀の料金トラブル～

Q 義父が亡くなり、病院からすぐに遺体を引き取るように言われ、電話帳に広告を出している葬儀社へ連絡した。遺体を運んでもらいそのまま葬儀プランについて話し合った。「家族葬で」と伝えたが、一般葬を強く勧められ、最後は精神的な疲れもあり、根負けして約150万円の契約をした。葬儀は終了したが、お金がなく費用を支払うことが出来ない。(60代 女性)

A 葬儀は突然必要になる上、死別の悲しみにより、冷静に対応することが難しい状況にあります。また、葬儀で提供されるサービスは種類も複雑であるため、業者との打ち合わせは複数で行うことが大切です。

見積書の請求に応じ、丁寧な説明をしてくれる業者を選びましょう。予算や希望ははっきり伝え、納得できるまで相談や打ち合わせを行います。特に参列者の人数によって増減する項目には注意が必要です。もしもの時に備え情報収集しておけば冷静に対応できます。

岡生活交通課 消費生活相談窓口

☎ 551-0115 (局番なし188) FAX 551-0149
滋賀県消費生活センター ☎ 0749-23-0999



草津警察署安全伝言板

夏休み、少年の非行・犯罪被害防止

★夜遊びはとても危険

「夏休みくらい夜遊びいいじゃん」という気の緩みは禁物です。夜は昼間に比べて危険が多いです。非行グループに引き込まれたり、恐喝や暴行の被害を受けたり…。特に、深夜時間帯には、凶悪犯罪、強制わいせつなどの犯罪が多く発生しています。夜遊びはしないでください。

★インターネットは正しく使いましょう

保護者は子どもが利用するスマートフォンには必ずフィルタリングをかける、利用時間を決めるなどして、まずは家庭が子どもたちを犯罪被害から守りましょう。

問合せ…草津警察署 生活安全課

☎ 563-0110 FAX 563-0116



すだじいの百年日記

～栗東景観よもやまばなし～

vol. 42



岡都市計画課 景観・まちづくり係

☎ 551-0116 ☎ 552-7000

未来を築く者としての「義務」「責任」



住民の力を合わせ、アジサイなど季節の花々を楽しめるように



第42回寄稿

加藤 孝由 さん

葉山川環境美化推進委員会 委員長

栗東市は南部地域の山並み、市街地近くの里山、水辺環境、四季を感じる風景がたくさんあります。山間地域から市街地までをつなぐ水の軸として、地域ごとに美しい河川景観を呈し、水と緑のネットワークを形作っています。葉山東学区では、地域振興協議会内に葉山川環境美化推進委員会を発足させ、葉山川の豊かで美しい自然環境の整備と保全を念頭に活動し、4年目に入ります。雑草に覆われていた土手を整備し、花壇を作り、以前とは見違える景色が広がっています。

身近な自然を守るには、人による手入れが必要であり、葉山東地振協役員と地域ボランティアで活動をしています。自分たちの住む町を「良くしよう、きれいにしよう」という思いはあるのですが、面倒くさい、誰かがしてくれる、など自分勝手な

発想から心優しい年配の方に任せて自分たちはやらない。そんな人が多く、私もそういう人でした。しかし全ての人がやらなくなったら、元の雑草だらけの土手に戻ってしまいます。面倒だとしても、「自分がやらなくても誰かがやってくれる」という考え方から「だれかがやらなくても自分がやる」という方向に頑張つて考え直しています。

私たちが暮らす場所です。自然環境を守り、美しい景観を創り出すためにアクションを起こすことは、その結果の恩恵を自分自身でも受ける事にもつながります。美しい自然を保つ事を誇りに思い、自分が多少犠牲になることも必要です。今般、活動メンバーの高齢化に伴い参加者が少なくなり、活動の継続が難しくなってきました。休みや家族構成も多種多様なので、参加の仕方を工夫しながら、まずは無理の少ない方法で参加できる機会を増やせたいと思います。

自らが諸活動に携わり、未来へ地域の美しい自然環境と景観を継承する。思いつきの主張ではなく、未来を築く者としての「義務」と「責任」を私自身今一度、深く考えています。

《大宝幼稚園分園》「いつも見守ってもらってありがとう」

今は太陽の光をいっぱい浴びながら、ヒマワリがすくすくと育っています。子どもたちも「お花が咲くのが楽しみだね」といった苗を大切に育てています。地域とのつながりが希薄になつてきている中、「いつもありがとう」の気持ちをもつて、つながっていきける取組みや関わりをこれからも大事にしていきたいと思っています。



岡幼児課

☎ 551-0424
☎ 551-0149

くりちゃん元気いっぱい運動 第3弾
*ありがとうが言える子育て (28) *



キラリ☆りっとう

今月のキラリ★ブランド

こんぜ清流米 純米酒「金勝」

金勝山系からの清流で育てられ、滋賀県環境こだわり農産物栽培基準で生育された「こんぜ清流米」。このお米を使った純米酒「金勝」ができあがりました。

昨年始めて完成した純米酒「金勝」ですが、蔵元の太田酒造によると、「今年は昨年より少し辛口にすっきりと仕上がっている」とのこと。「のどごしがキリッとしている」「飲みやすい」と飲んだ人からも好評です。



「杉玉」はこんぜ清流米の栽培農家が作成。よいお酒ができるように、願いが込められています。



また、新しい取組みとして、ＪＡ栗東市と生産農家が資源循環型農業にも挑戦。お酒の製造過程で出る酒の搾りかすを活用し、搾りかす140キロを今年のお米の肥料やお菓子の材料に使用しています。

ＪＡ栗東市直売所「田舎の元気や」では、
・「純米酒金勝」720ml瓶、1.8ℓ瓶
・こんぜ清流米純米酒の搾りかすを使用したお菓子
・「こんぜ清流米」2合入キューブ精米
を販売中。1年分の「こんぜ清流米」を低温貯蔵米蔵で預かる、数量限定の「玄米蔵出しオーナー制」も毎年好評です。

園農林課 栗東ブランド推進係

☎551-0124 ファクス551-0148

今月のキラリ★企業

利昌工業株式会社 滋賀工場

■住所…下鉤959-2

☎552-3701 ファクス553-6153

■ホームページ…<http://www.risho.co.jp/>

利昌工業は1921（大正10）年に「利昌洋行」として電気絶縁材料の製造販売を始めたのが創業となります。

滋賀工場は1968（昭和43）年に下鉤の工場団地でFRP（繊維強化プラスチック）製品の製造からスタートしました。現在はさまざまな電子機器に内蔵される多層プリント配線板材料、LED照明機器に使用されるアルミベース基板材料、受配電設備に使用されるエポキシ樹脂がいしなどを製造しています。



▲エポキシ樹脂がいし



▲工場緑化にも力を入れている滋賀工場



栗東文化芸術会館さきらには、当社（尼崎工場）製品の変圧器が設置されていますが、このように見えないところにも「リショー」の技術を採用していただいています。

また、市役所2階に設置されている企業紹介コーナーに当社製品の一部を展示していますので、ぜひご覧ください。

当社では従業員の行動規範として、企業を通じて社会に貢献することなどを掲げています。栗東の地で50年近くにわたって操業してきた滋賀工場ですが、これからも地域の皆さまと連携し、健全な経営を継続することで栗東市の活性化に貢献できるように努めてまいります。

五穀豊穰を願い どぶろく祭り

5月21日（上砥山地域）

仕込んだ濁り酒を奉納し、五穀豊穰を願う伝統行事「どぶろく祭り」が日吉神社で行われました。地域産の米「みずかがみ」を使用し、当番2人と杜氏が丹精込めて造ったどぶろくは、アルコール度数12度以上の辛口の仕上がり。地域の皆さんに振る舞われ、豊作が祈願されました。



※写真は、道の駅アグリ郷栗東



5月18日（湖南地域）

自転車で琵琶湖を1周する「ピワイチ」の人気を受け、湖南地域（栗東・草津・守山・野洲）の4市長が自転車に乗って各市の観光スポットを巡り、地域をPRしました。約12kmを駆け抜けた市長らは、協力して湖南地域の魅力を発信しました。

市長が地域をサイクリングでPR

6月1日

（なごやかセンター）

「栗東市親子のよい歯のコンクール」を開催し、29組の中から山根奏音ちゃん・玲子さん親子が最優秀賞を受賞しました。



親子でよい歯を維持

歯磨きを大切に、最近は、奏音ちゃんが頑張っていて自分で歯を磨いているそうです。二人は、7月に開催される滋賀県大会に市の代表として出場されます。



6月3日（治田東小学校）

治田東小学校の5年生が滋賀県地球温暖化防止活動推進センターの出前授業を受けました。琵琶湖に住む生き物や、地球温暖化に伴い、湖で起きていることを学んだ子どもたち。大切な琵琶湖や自然環境を守るため、できることを考える機会となりました。

5年生が地球温暖化防止を学習



6月4日（旧和中散本舗）

「NPO法人 街道をいかしたまちづくりの会」により、毎月第1土曜日に定期開催されている旧和中散本舗。6月4日は栗東国際交流協会により開催された「栗東ロテリアウオーキング」を楽しむ皆さんが来場し、よし笛や琴の演奏、お茶を楽しみました※。

旧和中散本舗が定期開場



100歳大学で市の現状と課題を学ぶ

5月26日（コミュニティセンター大宝東）

昨年、全国初の取組みとして開校した「栗東100歳大学」。市長が大学生に期待することも交えて市の課題と現状を講演しました。質疑応答では、地域間格差などに対する質問を市長が政策説明と合わせて回答。講演後は、今後の活動を受講生が話し合い、次につながる授業となりました。7月28日には卒業式が予定され、卒業生の今後の活躍が期待されています。



金勝山の魅力を 市民ガイドが発信

5月22日（金勝山）

春のハイキングシーズンに合わせ、栗東市ボランティア観光ガイド協会が金勝寺と狛坂磨崖仏を往復するハイキングを企画しました。参加した16人はボランティア観光ガイドの案内のもと、金勝山の景色や歴史を満喫しました。

※ハイキングの見所は市ホームページ掲載の「ほっと栗東」で映像配信しています。

梅ノ木立場を 幻想的なあかりで演出

5月28日（旧和中散本舗周辺）

旧和中散本舗周辺で「梅ノ木立場あかりの演出2016」が開催されました。今回は、地域のお寺を舞台にした「さくらジュニアオーケストラ・アカデミー」の演奏、スタンプラリーなど趣向を凝らした内容で展開。「くりちゃん」や「にんじゃえもん」も登場し、イベントを盛り上げました。



輝く栗東人

紅白歌合戦出場の夢を胸に、人の心を動かす歌手に。

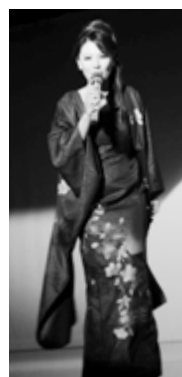
■演歌への思いを聞かせてください
10代の頃は、ただがむしゃらに歌っていました。30代になって、歌詞の意味が理解できるようにな

■歌手を目指したきっかけは？
小さな頃から歌手になることが夢でした。演歌が好きだった両親の影響で、物心ついた時には、私の中で、歌謡曲と言えば、演歌でした。よく口ずさんでいたのは、美空ひばりさんの曲です。3人の子育てをしながらも、家事の合間に歌ったり、カラオケ大会やテレビ番組に出演するなどして、夢をあきらめず、大好きな歌に関わってきました。子どもたちの理解と応援もあり、平成26年にデビューすることができました。



竹村 こずえさん
(37歳・市内在住)

栗東出身の演歌歌手。2度「NHKのど自慢」に出場し、抜群の歌唱力で輝く。8月11日(祝)には、さきらでデビュー2周年リサイタルコンサートが開催される。
<http://www.tree-top.jp/>



■今後の夢は？
デビューして2か月後に「NHK歌謡コンサート」に出演が決定した時は、信じられませんでした。ま

り、より心を込めて歌えるようになりました。自己流ですが、歳を重ねるごとに、演歌の深さをいっそう感じ、より表現の幅が広がっています。デビューして今までの3曲はコブシを効かせた、張りのある民謡調の曲でした。第4段目の新曲は「ドス」を効かせた新境地のブルースで今までは180度違った大人の魅力に挑戦しています。今は、30代の私の味を出せるように努力しています。40代になれば、また違った表現ができるようになるのではないかと楽しみです。



新たな挑戦となる新曲は8月3日に発売予定



地元さきらで、2周年リサイタルコンサート

8月11日(祝) 11時～・15時～
場所…さきら 前売 4,500円
間さきら ☎ 551-1455

た、デビュー曲「熊登の海鳴り」は、「第51回日本クラウンヒット賞」「第29回日本ゴールドディスク大賞」の新人賞を受賞することができました。同じシングルマザーである皆さんの応援も励みになっています。今まで「楽しみを見つけ、それに向かって行動すること」で夢を叶えてきました。将来は、「演歌歌手と言え、竹村こずえ」と言われるような、人の心を動かせるような歌手になり、「NHK紅白歌合戦」に出場することが夢です。歌を通じて栗東を盛り上げていくことができたらしです。

創業34年 まごころこめてお手伝い

滋賀ペット葬儀社



栗東セレモニーホール 年中無休

お迎え・個別火葬・納骨供養

日本ペットランド 栗東市坊袋207-1

077-554-5515

広告欄

有料広告掲載のお申込み・お問合せは 広報課 ☎ 551-0641 ☎ 554-1123へ(掲載料金:本文最終ページ:1枠30,000円) 掲載内容のお問合せは、直接広告主へ。内容に関する一切の責任は広告主に帰属し、市が推奨するものではありません。



人口(6月1日現在) 人口67,801人 男33,830人 女33,971人 前月より59人増 世帯数26,357世帯

この広報紙は地域の間伐材とベジタブルインクを使用しています。